

FA業界掲示板

■「産業オープンネット展」盛況、3年ぶりリアル開催

「産業オープンネット展 2022」が、8月2、3の両日、東京・錦糸町駅前のすみだ産業会館で開催され、約600人が来場した。

今年で11回目となる同展は、20年、21年の2年間は新型コロナウイルスへの対応からインターネット上で開催したが、今回は3年ぶりにリアル展示会として実施した。新型コロナウイルス感染者数がなかなか減少し



①にぎわう展示コーナーと
②満員のセミナー



ない中での開催となったが、1社が参加を取りやめたほかは、10団体と41の企業が予定通り出展し、展示デモやセミナーを実施した。

今年1月に開催したFAの展示会IIFESも、開催直前で新型コロナへの緊急対応からリアル出展の会社が大幅に減少したが、今回は久しぶりに展示とセミナーが予定通り開催できた。

昨今の部品不足などによる納期対応や製品開発が計画通り進まない状況もあり、展示内容にもその影響を反映。開発や発売の遅れを懸念する説明が多く聞かれた。

また、セミナーもコロナ対策から参加定員を絞ったこともあり、満員となるコースが多かった。

主催者では、同展を来年以降も開催を企画しており、東京と名古屋の2カ所で実施したいとしている。

■不二電機工業、総合カタログ2022年度版を発行

不二電機工業は、総合カタログ2022年度版を発行した。同社オンライン通販サイト「WEB-ED」から問い合わせできる。なお、各製品ページからもPDFデータをダウンロード可能。



■不二電機工業、協働ロボットを使ったワーク供給のデモ動画公開

不二電機工業は、M³エンジニアリング部の取り組み・事例を紹介する動画を更新し、ロボットを使ってワークを供給するデモを公開した。

M³エンジニアリング部は、2020年2月に生産技術部を改称。M³(エムキューブ)とは、「3つのM'Mechatronics(メカトロニクス)''Mold(金型)''Manpower-Saving(省人化)''を掛け合わせ、相互作用による立体的なエンジニアリングを提供する」というコンセプトを表している。

今回更新した動画は、可搬式台車に乗せた協働ロボットを使い、ワークをパーツフィーダーに投入するデモとなっている。

■ドーワテクノス、東京支店を丸の内に移転

ドーワテクノスは、東京支店を移転した。新住所は千100-0005東京都千代田区丸の内一丁目11番1号パシフィックセンチュリープレイス丸の内8階。電話番号は03-6860-8231、FAX番号は03-6860-8551。

■星和電機、2022年度版「産業用照明・機器カタログ

」発刊

星和電機は、2022年度版の「産業用照明・機器カタログ」を発刊した。

主な改訂内容は、7月の価格改定後の定価のほか、空気・表面除菌製品を新たに掲載、軽量化したLED小型投光器(LCTX0156/0157)のリニューアルなど。

同社ウェブサイトから新カタログの発送請求ができるとともに、カタログPDFをダウンロードできる。

■オブテックス・エフエー、「画像処理用LED照明総合カタログ2022」PDF版の無料ダウンロード提供開始

オブテックス・エフエーは、画像処理用LED照明総合カタログ2022【PDF版】の無料ダウンロードを提供開始した。

画像処理用LED照明、コントローラ・電源、オプションを網羅した総合カタログ。製品の仕様や寸法図はもちろん、技術情報を掲載したテクニカルガイドや電源セレクションガイドなど、現場で役立つ情報を掲載している。

■サットコン、オンラインショップをグランドオープン

サットコン(東京都町田市)は、8月1日から「Satconオンラインショップ」をグランドオープンした。

同社は2022年4月に設立。生産技術者や開発技術者など、電気部品配線部材などを使用する人に、選びやすく、使いやすい「お役立ち商品」をワンストップサービスの提供を目指している。

オープン記念セールを9月22日まで実施。製品10個以上購入した場合は表示価格から20%OFFするほか、さらに新規会員登録時にはボーナスポイントとして100ポイントを進呈するサービスを行っている。

サットコンのオンラインショップは<https://satcon.co.jp>。

■エニワイヤ、「Interop Tokyo2022」出展レポート公開



エニワイヤは、6月15～17日に開催されたインターネットテクノロジーのイベント「Interop Tokyo 2022」の出展報告を公開した。

同社は、省配線システムに対応した省エネ支援、エネルギー監視、iDC環境監視システムを展示。共同出展のデンソーの上位統合システムDCIM、LAN・電源切替装置も展示した。展示会場内に多数の機器と、最新の技術を使用してネットワークを構築するプロジェクト「ShowNet」にも、データセンターでの使用例として製品展示した。

■日東工業、電気工事士を描いた絵本「電気工事士のおとうさん」発売

日東工業は、電気工事士を主役として描いた子ども向け絵本「電気工事士のおとうさん」を発売した。

近年、電気工事業界や電気保安業界では入職率の



低下や高齢化などで、電気工事士の人材不足が課題となっており、入職率の低下は、業界に対する認知度の低いことが原因としてあげられている。電気工事用資材を製造・販売する同社は、電気工事業界の課題に対し、若手従業員の発案

と、全日本電気工業工業組合連合会の協力で、この絵本を制作した。主人公の10歳の「ぼく」と電気工事士の「おとうさん」。みんなの「明るい暮らしを守る」ための親子の絆の物語。この絵本を通して、多くの人に電気工事士のことを知ってもらう機会につながることを期待している。

■三菱電機、FA羅針盤で特集論文「モバイルアプリ活用による生産現場の見える化ソリューション」公開

三菱電機は、FA羅針盤で特集論文「モバイルアプリケーション活用による生産現場の見える化ソリューション」(名古屋製作所原泰弘氏、兼子貴弘氏)を公開した。

タッチパネル付き表示器「GOT2000シリーズ」のリモートソリューション「GOT Mobile」と連携した「Pocket GOT」と、簡単に設備のIoT化を実現できるFAアプリケーションパッケージ「iQ Monozukuri工程リモート監視」を連携させ、異常発生時の現場での対応がさらに迅速にでき、かつ簡単低コストで導入できる見える化ソリューションを紹介している。

■アズビル、東京地区安全衛生大会を開催

アズビルは、東京地区安全衛生大会を7月13日オンラインで開催した。

大会には170人が参加し、労働災害防止活動の重要性を再確認した。

また安全表彰でも、azbilグループ総括安全衛生管理者表彰など、現場で優れた安全衛生活動に携わった個人、およびグループを表彰した。

同社ビルシステムカンパニー武田知行東京本店長は、「新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に続きリモート開催となったが、本日を好機に職場における労働災害防止活動の大切さを再確認し、より積極的な取り組みの推進と、今一度自身の作業に危険がないかの意識をもって行動していただきたい。また、今夏は酷暑が予想されており熱中症対策に加え、新型コロナウイルス感染防止に万全を尽くして現場作業に取り組むようお願いしたい」とあいさつした。

同社では、今年度全国11カ所で安全衛生大会を開催する予定。

■シュナイダーエレクトリック、UPSを通じた電源障害対策の導入事例公開

シュナイダーエレクトリックは、UPS(無停電電源装置)を通じた電源障害対策の導入事例を公開した。

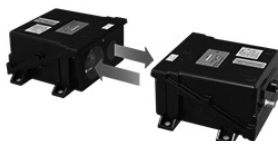
電源障害によるデータ損失や、ダウンタイムの増加、誤動作を防止したいという顧客の要望に対し、現実には「パソコンにデータがあるため電源障害による損失を防ぎたいが、具体的な電源対策ができていない」「電源障害が発生すると、製造ライン全体が停止してしまい、無駄なコストがかかってしまう」「工場全体の電力をバックアップする自家発電機があるが、稼働するまでの電源バックアップ方法がない」などで電源障害対策が進んでいなかった。それに対し、シュナイダーエレクトリック製のUPSを使用して解決した事例を紹介している。

■北陽電機、コラム「イーサネットをワイヤレス通信できる光伝送装置とは？」掲載

北陽電機は、技術コラム「イーサネット(Ethernet)をワイヤレス通信できる光伝送装置とは？」を掲載した。

クレーンやトラバース、移動台車などを制御す

る場合の「ケーブルが敷設できない」「ケーブルが屈曲でダメージを受ける」「Wi-Fiでは干渉や傍受が心配」といった課題に対し、イーサネットをワイヤレス通信できる光伝送装置を使うことで解決。光データ伝送装置は光で空間を伝送するのでケーブルの心配は不要となり、LANケーブルと同じイメージで使用でき、電波と違って法的規制もなく使うことができる。



■ミツトヨ、高知ミツトヨを吸収合併

ミツトヨは、高知ミツトヨを7月1日付けで同社に統合した。同社10番目の自社工場となり、世界一のマイクロメータヘッド生産体制確立を加速させる。高知ミツトヨはもともと同社の完全子会社だったが、「生産、販売、技術」を集約するため、マイクロメータヘッドの専門工場だった高知ミツトヨを吸収合併することにした。

■IHI、3次元ピッキングシステムの技術開発拠点・体験型ショールームを開所

IHIのグループ会社であるIHI物流産業システムは、IHI横浜事業所の敷地内に、3次元ピッキングシステム「SKYPOD」の技術開発拠点・体験型シ



ョールーム「横浜ロジラボ」を開所した。

同システムは、物流センターと製造工場内に設置される保管ラックからロボットが自動走行し、対象商品を作業者の元まで搬送する3次元走行ロボット式ピッキングシステムで、フランスを本拠地とするEXOTEC Solutions SAS社が開発・製造・販売している。

「横浜ロジラボ」は、技術改良のための実験場であるとともに、顧客が実際に同システムを体感できるショールームを兼ねており、商談スペースとしても利用可能な施設。

■IMV、振動試験機の導入事例2件公開

IMVは、振動試験機の導入事例を2件公開した。事例の1つ目はCATARC天津へのモデル「K200/EM40HAM-CE2022」の導入事例。自動車関連の顧客への対応を目的とし、新たに振動試験装置2台を天津の施設へ導入する計画となった。

2つ目は広島大学へのシステム「IMV cloud」と振動試験装置「m130LS」の事例。同大学での研究テーマ「振動の見える化」と、セキュリティが高く、安全に振動試験の状況を遠隔で監視できるIMV cloudサービスが合致し、高評価を得た。

■「STAUBLI eXPO」、大阪で8月25、26日開催

ソルトン(横浜市港北区)は、同社が販売している流体カップリング、および電気コネクタのストーブリ社製品を紹介するストーブリ社主催の「STAUBLI eXPO Summer 2022」を、8月25日(木)、26日(金)の2日間、大阪で開催する。開催時間は10時～17時。

「SDGsへ脱炭素ソリューション」をテーマに、カップリング、コネクタを中心としたソリューション紹介や、カーボンニュートラルに向けた製品や高付加価値提案、また、トータルコスト削減に役立つカップリング・コネクタ・ロボットに関するセミナー(ウェビナー)も開催する。

場所は、ストーブリ・東梅田ショールーム(大阪市北区西天満6-7-4、大阪弁護士ビル1階)。

参加申し込みなどは、<https://soltan.mrc-s.com/staubli-expo2022/?mt=SSaBAl0BA80>。

イベントセミナー情報

■パトライト、8月25日にウェビナー。データ統合ソフトウェア「IoT Data Share」紹介

パトライトは、8月25日にウェビナー「あらゆる機器のデータを集約・見える化でカイゼンにつなげる!」WD連携データ統合ソフトウェア「IoT Data Share」をご紹介します。IoT Data Shareは、1000種以上のFA機器と接続し、データの収集・加工・保存・通知・公開の機能を提供するデータ統合ソフトウェア。IoTシステムのデータ収集で悩んでいる人におすすめ。主催はパトライト、共催はデンソーウェーブ。定員100人。

■ロックウェル、スマートマニュファクチャリング導入セミナー「Drive Up Manufacturing」

ロックウェル・オートメーションは、8月19日までオンデマンドで視聴可能なスマートマニュファクチ

ャリング導入セミナー「Drive Up Manufacturing」を開催している。

スマートデバイスによって可視性、安全性、セキュリティがどのように向上し、ダウンタイムが削減されるかを実感できるバーチャルイベント。同社の専門家による講演で、日本語、中国語、韓国語の同時通訳付き。

基調講演「スマートデバイスを活用して、スマートマニュファクチャリングの正しい基



盤を構築する」や、セッション1「天井クレーンをスマートマシンにする」、セッション2「CIPセキュリティに対応したスマートデバイスを使って、制御システムのセキュリティを確保する」、セッション3「デバイスレベルの予知保全による計画外ダウンタイムの削減」、セッション4「腐食性ガス耐性を向上したXTシリーズ製品のご紹介」など。

■リタール、8月30日にオンラインセミナー。盤用クーラー-NEW「Blue e+S」紹介

リタールは、8月30日にオンラインで「省エネルギーで制御盤と環境を守る盤用クーラー-NEW『Blue e+S』紹介セミナー」を開催する。

脱炭素とカーボンニュートラルの実現に向け、不燃性混合冷媒R513Aを採用し、省エネルギーでCO₂削減を実現する盤用クーラー「Blue e+S」(ブル



ー・イープラスS)を紹介する。聴講者全員に、資料「技術ライブラリエンクロージャーおよびプロセスの冷却」を送付する。

富士電機
Innovating Energy Technology

富士電機機器制御株式会社

代表取締役社長

森 本 正 博

埼玉県鴻巣市南一丁目五番四五号
〒3169
☎〇四八(五四八)一一一

代表取締役
会長 兼 社長

船 木 俊 之

DEC株式会社

大阪府淀川区西宮原二丁目六番六四号
〒53302
03-6263-3981 1500

光洋電子工業株式会社

代表取締役社長

森

豊

東京都小平市天神町四丁目九番一
号
〒1867
0004
☎041(341)3111

北陽電機株式会社
代表取締役
尾崎 仁志
大阪市西区江戸堀一丁目九番六号
〒550
☎〇六(四四一)三二二

PATLITE®

株式会社パトライト

代表取締役社長

高野 尚 登

大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目一 番三 号
〒554 1 0056 1
☎ 06(777-2) 8950

WashiON 共立継器株式会社

取締役会長

宮川 昭二

代表取締役社長

追分 泰

長野県諏訪郡下諏訪町四六八四番一
号

〒3693
0087

☎〇二六六二七八九一〇

FASTUS
Good Thinking. Good Future

代表取締役社長

中島達也

京都市下
京区中堂寺栗田町九一
番四号
サークル9号館

〒600
8015
☎〇七五(三・五)二九二〇

オプテックス・エフエー株式会社


**KOKUSAI
DENGYO**
 STEP INTO THE FUTURE.

代表取締役社長
 古川 長武
 名古屋市昭和区四丁二七番地一四号
 〒466
 0546
 ☎〇五二(八七二)六六二一

株式会社 サンミューロン

代表取締役社長
川島 敬介

東京都品川区戸越三丁目二番一〇号
〒114-2
0141 電話 三(六七八)六七二一

キムラ電機株式会社

代表取締役社長 藤岡利之

東京都品川区西五反田七丁目二番五号
〒141 0031 ☎〇三(四九)八五一



スワロー電機株式会社

会長

代表取締役社長

河原 実
河原 道彦

大阪市東住吉区桑津二丁目六番三号
〒544 6
0141 6
☎06(6714)0431

株式會社 壬生電機製作所

取締役會長 宮澤 勇 夫

代表取締役社長 古 野 修

京都府南区吉祥院仁木ノ森町五〇番地
〒600-0141
8025041
☎〇七五(六八)八五六一


相原電機株式会社
代表取締役社長
城岡充男
大阪市平野区瓜破四丁目二番三三号
〒547
0024 ☎〇六(六七〇七)三四五六

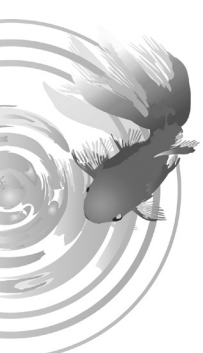
フエニックス・コンタクト株式会社

代表取締役

青木良行

横濱市港北区新横浜一丁目七-九
〒222-0292
045-333-0093
☎045-447-0093

見舞い げます



暑中お
申し上

 **Rockwell
Automation**

代表取締役社長

矢田 智巳

東京都中央区新川一丁目三番一七号
〒110-4
0033 03(三三)六〇六七八一

Pro-face
by Schneider Electric

日本統括代表
代表取締役社長

白幡 晶彦

東京都港区芝浦二丁目一五番六号
〒100-8
オアール芝浦ビル
03-3533-0033
FAX 03-3533-7651

シユナイダーエレクトロニクスホールディングス株式会社

SICK
Sensor Intelligence.

代表取締役社長

松 下 実

東京都中野区本町一丁目三番二号
〒164
0164
☎ 03-3309-1111

株式会社ピーアンドエフ

代表取締役社長

太田 階子

横浜市西区花咲町六一四五
〒2220 横浜花咲ビル5階
0222 0456(四)9077

B&R

B & R 株式会社

代表取締役

小野 雅史

横浜市西区高島一丁目一番二号
〒2200
横浜三井ビル15F・23F
02210 電話 〇四五(六三)八四六〇

株式会社
ソルトン

代表取締役社長

志賀 彰

〒262-0032 横浜市新横浜二丁目七番二号

045-471-7711

Marubeni
Group

PILZ

代表取締役

リジベル
オリビエ

株式会社
ピルツジャパン

〒225-0033 東京都港区北區新横浜三丁目一七番五号
いちの新横浜ビル四階

電話 045(471)2181

CALEXテクノロジー株式会社

代表取締役社長 田中健一

〒233-1002
東京都中央区海岸通四丁目二三番
マリノアビル6階
☎〇四五(三八)九四四七

代表取締役社長
丹羽 一郎
大阪府大阪市中央区本町四丁目六番一七号
〒541
0033
☎〇六四七〇八三九〇八

リタール株式会社

代表取締役

新岡 卓

横浜市港北区新横浜二丁目五番一十二号
金子第一ビル七階
〒222-0232
電話 〇二〇九九八六三三



代表取締役
井形 哲三

横浜市港北区新横浜二丁目五番一―号
金子第一ビル七階
〒22202
00333
☎0045(一七四)七九〇四


ePLAN

PLANSOFTWARE&SERVICES株式会社

株式會社 新愛知電機製作所

代表取締役

小 出 行 宏

愛知縣小牧市大草字上坂5953番地の1
〒485
0802 ☎〇五六八(六八)八三〇一

OJIDEN[®]

大阪自動電機株式会社

代表取締役社長

与田 彰

大阪市旭区大宮四丁目二〇番一八号
〒535
0002 電話 〇六(六九五)三三三三

今を一步へ…

ARAI BOWL RIX



 **アライ株式会社**

〒965-0102 会津若松市真宮新町北 2-78
TEL0242-58-3391 FAX0242-58-3394

代表取締役社長 佐藤忠彦

暑中お見舞い申し上げます

2022年
(順不同)



NAKANET

中西電機工業株式会社

代表取締役

中西 政男

名古屋市中区富士見町九番地一
号
〒460-0040 ☎051(331)5111
名古屋市中区下南津小牧4番地崎崎町四丁目岐阜県
瑞穂市松島



株式会社高木商会

代表取締役社長

中山 広幸

東京都大田区北千束二丁目二番七号
〒114-0062 ☎03(378)3611



株式会社 サンセイテクノス

代表取締役社長

浦野 俊明

大阪市淀川区西三国一丁目一番一
号
〒553-0006 ☎06(639)3111



岡本無線電機株式会社
おとしり株式会社

代表取締役会長

岡本 崇弘

代表取締役社長

岡本 崇義

大阪市浪速区日本橋四丁目八番四号
〒556-0005 ☎06(664)4671



株式会社カナデン

代表取締役社長

本橋 伸幸

東京都中央区晴海一丁目八番二
号
〒104-6210 ☎03(377)8800



サンワテクノス株式会社

代表取締役
会長兼社長

田中 裕之

東京都中央区京橋三丁目一番一
号
〒104-0031 ☎03(510)4011



アール電子株式会社

代表取締役社長

松本 年生

東京都千代田区外神田一丁目九番八号
〒100-0021 ☎03(315)7600



日昭無線株式会社

代表取締役社長

伊佐野 勝利

東京都千代田区外神田一丁目三番一
号
〒100-0021 ☎03(315)6689



大和無線電機株式会社

代表取締役会長

堀内 寛

代表取締役社長

堀内 優

東京都文京区湯島三丁目一三番八号
〒113-0034 ☎03(584)8361



Chuo Music Data

中央無線電機株式会社

取締役会長

藤本 正則

代表取締役社長

藤本 愛

東京都中央区八丁堀四丁目一番四号
〒104-0032 ☎03(517)7114



鳥居電業株式会社

代表取締役社長

齊藤 修

東京都千代田区外神田二丁目一〇番九号
〒100-0021 ☎03(315)7571



ライト電業株式会社

代表取締役社長

岡本 典久

岡山市南区芳泉二丁目二番三
号
〒702-8027 ☎08(624)3844



株式会社 シマデン

代表取締役社長

島村 一郎

東京都練馬区北町二丁目三〇番一〇号
〒179-0081 ☎03(393)9111



NKE株式会社

代表取締役社長

中村 道一

京都市伏見区羽東藤原町三六六一
号
〒612-8487 ☎075(924)653



株式会社 マコメ研究所

代表取締役社長

沖村 文彦

長野県上伊那郡箕輪町中箕輪一〇〇〇一
号
〒399-4601 ☎026(579)8154



ネットシステム株式会社

代表取締役

西村 浩

東京都狛江市岩戸北二丁目一番七号
〒204-0201 ☎03(549)77011



大洋電機株式会社

代表取締役

西村 浩

東京都狛江市岩戸北二丁目一番七号
〒204-0201 ☎03(566)7135



イサオ電機株式会社

代表取締役

山元 勲

大阪市浪速区元町二丁目五番一六号
〒556-0016 ☎06(647)1801



株式会社 広済堂ネクスト

〒105-0023 東京港区芝浦1-2-13
シーバンスS館 13階
TEL 03-3453-0556



株式会社 ジャパンユニックス

代表取締役社長

河野 寛史

東京都港区赤坂二丁目二番二五号
〒107-0052 ☎03(358)8051



株式会社 FAプロダクツ

代表取締役会長

天野 眞也

代表取締役社長

貴田 義和

東京都港区新橋五丁目二番一〇号
〒105-0004 ☎03(645)3678



株式会社 アルファTKG

代表取締役社長

高木 俊郎

東京都中央区日本橋本町四丁目一番一
号
〒103-0023 ☎03(317)9016



株式会社 ジェルシステム

代表取締役

星本 嘉恵

東京都千代田区九段南四丁目一番一
号
〒102-0074 ☎03(510)5111



一般社団法人日本配線資材工業会

会長

松本 年生

東京都千代田区外神田一丁目九番八号
〒101-0021 ☎03(351)5861



21世紀の新社会築く企業群



配電制御機器納期 最新状況

正常化に向け回復の兆し

引く納期遅延によって製品が作れず納品できては長
い間に統配電制御機器の納期遅延。すでに一部の制盤メーカーでは経
営的に耐えきれない企業も出てきている。電制御機器メーカー各社は増産を急いで、
通常の整備を進めてきていたが、3月から6月までの中国・上海ロックスターの影
響が大きく、回復に水を差される格好があり、足踏みをさせられた。この一
定から納品目安が明らかになったり、納期が短縮される製品も一部出てくる。
また回復の兆しが見え始めた。正常化をあととなく。ここが最後の難関だと思
電制御機器の主要メーカーの7月末時点での納期目安の最新状況をまとめた。

一部製品「短縮」も

三菱電機は、ソフトロー
う製品は納期はほとんど変
わらず。シークは4月、
10月、12月、表器部も
一部機種はGOTO 000
シリーズ15型・7型振
張インサートフェニックス
非搭載モデルで5・8カ
月だったものが、4・7カ月
と改善されたが、多くは7
・12カ月ほどとなっている。
駆動機器は改善の兆候。
三相千々は8カ月以上上だ
ったものが8カ月、ギヤ
ドモタも、機種によって
3カ月以上が3カ月、4
・6カ月以上が4・6カ月と
めどがついてる様子。サ
ーボ千々は、12カ月以上
と長い納期でめもつていて
いなかったが、12・15カ月
と進展した。
配電制御機器も同様に、
以前は○カ月以上と見通し

6カ月以上が4〜6カ月と
めどがついてきた様子。サ
ーボモータは、12カ月以上
と長い納期でめどもついて
いなかったが、12〜15カ月
と進展した。

配電制御機器も同様に、
以前は○カ月以上と見通し

が立つていなかったものが、期日目安が明確になった。電磁接触器・電磁開閉器の部は10カ月以上だったものが10・12カ月に、電磁継電器は4・5カ月に、ソケットは7カ月以上から7・9カ月となった。電力量は1・3カ月は2・6、高圧真逆断器は3・4カ月だったものが1・3カ月に改善。デジタル形保護継電器は10・11カ月ほどとなっている。

オムロンは、押しボタンスイッチは6カ月に、変化なし。リレーは3・6カ月に目

改訂 GPE は 4 6 6 力月で、
 たものが 1 3 3 力月でなかった
 り、G3TA も 6 力月以上
 だったものが 3 6 力月と
 入手可能が高まった
 足が深刻と言われるケッ
 以上から、3 6 力月に、P
 2 RF は 4 6 6 力月から
 3 力月となった。

先日、02 年度第
 四半期の決算発表では、製
 品の外注比率を増やし、一

部製品の肉内工場へ移転

富電機機器制御は、電磁接触器と電磁開閉器は、多くの機種で3~4カ月程度、漏電遮断器は2~4カ月ほど、電子式ブレーカーは6カ月、小形ブレーカーは12カ月となっている。漏電保護リレーは3~4カ月、サーキットブロッケタは1~2カ月。操作表示機器は3~4カ月、制御リレーは4~5カ月ほどだが、部機種で納期が長くなる。

日立産機システムは、6月からほとんど変化はなし。配線用遮断器の納期は最大3カ月程度、漏電遮断器は最大3~4カ月ほど。電磁接触器は最大1~3カ月程度、電子式ブレーカーは最大1~3カ月程度、サーマルリレーは最大1~2カ月程度、手に入る。しかしながら保護開閉器は納期が悪化しており、最大3カ月程度であったものが、最大4カ月へ延長されている。

配電制御機器 主要メーカーの主な納期目安	
三菱電機	
シーケンサ	4～10ヵ月
表示器	7～12ヵ月
センサ	2～3ヵ月
インバータ	11～13ヵ月
三相モーター	8ヵ月
ギヤドモーター	3ヵ月～
サーボ	12～15ヵ月
漏電遮断器	3～8ヵ月
電磁接触器・電磁開閉器	5～8ヵ月
電磁継電器	4～5ヵ月
ソケット	7～9ヵ月
オムロン	
押しボタンスイッチ	6ヵ月以上
リレー	1～3ヵ月 または6ヵ月以上
ソケット	3～6ヵ月
電源	6ヵ月以上
保護継電器	6ヵ月以上
富士電機機器制御	
電磁接触器・電磁開閉器	3～4ヵ月
漏電遮断器	2～4ヵ月
電子式ブレーカー	6ヵ月
漏電保護リレー	3～4ヵ月
サーキットプロテクタ	1～2ヵ月
操作表示機器	2～4ヵ月
制御リレー	4～5ヵ月
リレーソケット	8ヵ月
日立産機システム	
配線用遮断器	8ヵ月
漏電遮断器	3～4ヵ月
電磁接触器	1～3ヵ月
電磁開閉器	1～3ヵ月
サーマルリレー	1ヵ月

※あくまで主要機種の大まかな目安となります。個別機種の詳細は各社にお問い合わせ下さい

技術的な理論や評価結果なしに選択肢から排除してしまう

国際的な競争にさらされている上、昨今のCOVID-19の感染拡大もあり苦境にあえぐ企業が aumentando いる。結果を急ぎたいという焦る心理状態に陥っている技術者が増えていると感じています。

当然ながらスピード感をもって進めなくてはいけない仕事もあります。全てにこの考えを当てはめるのは危険です。今回のコラムでは技術的な理論や評価結果に基づいて選択肢から排除するというこのリスクと、マネージメントの取るべき姿勢について考えてみたいと思います。

技術的な仕事は
スピードよりも
技術的に抜け漏れを
無くすることが重要

製造業・世界と戦う担い手づくり

エキスパート 待望 ▶ 71

いう事実こそが技術の根幹であり、全ての出発点です。技術者は常にこのことを基本として業務に取り組みないと、「技術者としての強みと特権を自ら破壊している」という点に同じになります。どうしたらいいですか。

スピードや効率が
求められる業種は
理論や検証の
難しい業種

スピードや効率が大重要と
いわれる業種として、「企画や
経営」というものがあります。
当然業種規模による違いはあり
ますが、これらの業種はとにかく
スピード感が全てです。

なぜかというところ、「基本的に
企画や経営には確たる理論はな
く、前進しか行つたところの妥当
性を判断できない」ということ
にあります。

世の中には企画や経営に関するさまざまな理論と呼ばれる情報が出回っていますが、結局それらはその本や情報を書いた筆者にとっての成功、またはそのように考えているものであり、国や業種という状況はもちろろん、時代などによっても正解といえるものがめまぐるしく変化し

効率重視は危険「急がば回れ」

そのため、合っているかどうかは別にして、「トワイをするしかない」ということになりまます。この時のスピード感は一般的な員から見たら異次元の世界的勝負するしあります。例え経営を例にすると、損失が出ると、または出始めにという事業に対し、撤退といふ判断する場合、一刻一秒を争うスピード感で行わないと、事業がと倒れてしまうことも珍しくありません。

特に韓国は内部留保などの余剰資金を抱えていない中小企業者が必要があるでして。技術者かスピード感や効率だけを求めたいことは、企画や経営者によってスピード感を持つての実行と判断が全という業種と同じフィールドで勝負することになります。

不変の絶対的な正解ともいえない技術的な理論が存在するにも関わらず、それを無視してフカワ重現で闘うというのはさういふことになるのです。

前記の通りスピード感や効率だけを求めるのは大変危険といえます。技術者の強みである技術的な専門性、理論、評価結果

を活用せず、無視してしまっているからです。

このような危うい効率重視の考えを、技術者の思考回路の一つが、「技術的合理性や評価範囲を拡大し、」に選択肢が排除する」ということです。

例えば、技術的な業務においていくつかの選択肢があり、それらを選ばなくてはならない。これの際、効率を重視し、選択肢を減らすために「選択肢排除」を減らすというところを行って技術者がいます。

もちろん、その選択肢が除外することを支持する、明確な技術的理論や評価の根拠がなければなりません。すなわち、そのような技術的事実が、それを裏付ける技術的理論

吉田 州一郎
(よしだ しゅういちろう)
FRP Consultant株式会社
代表取締役社長
福井大学非常勤講師
FRP(繊維強化プラスチック)を用いた製品の技術的課題解決、該関連業界への参入を検討、ならびに商業としての事業拡大を検討する業をベースとする技術コンサルティング企業代表、現在も国内外の研究開発最前線でご指導、指示するなど、評論家ではない実践力を重視。複数の海外ジャーナルにFull paperを掲載された高い専門性に裏付けられた技術サポートには定評がある。

けを外してしまうのである。技術評価は理論が裏付けとなる技術評価の結果に限り、その外してしまえば選択根拠が求まらない。マネジメントはこのような状態を回避するためにはいけません。そのためには何か重要なものを選ぶ必要があるのです。

「マネジメント」
求められるのは
明確な技術的理論や
技術評価結果を示させる
というぶれない姿勢

「マネジメントは技術者が選択根拠を外した場合、「なぜその選択根拠を外したか」ということを問いかねていただきます。」
そして、なぜそれを出したいのかについては「技術的な理論を説明する、もしくは技術的な評価結果を示させる」ということを徹底することが重要です。

明確な技術的理論がない場合は、「技術評価計画」を必要とせず、その中身をよく吟味し、マネジメントが承認し技術評価を進める、ということが技術者に指示する姿勢が求められるものです。

「マネジメントは技術的事実がわかれるに限り、前に進まない」という性格者としてのぶれない姿勢が必要でです。

計画の承認は、長時間的かつメシヤの如くに、技術的觀點をメソッドの別に、技術的觀點についてのみ客觀的に述べる技術の書家を別に置く場合がある。

北米は Chief Engineer といふ呼ばれるものがある。これは、技術的觀點を決定しますが、日本人物も決定しますが、日本においてはそれからの技術企業では必要取組みだと思えます。

いかがでしたでしょうか。日本には、急がば回れ、ということわざがあります。昨今の効率に基づいて仕事をすき職種であり、このような職種が必要であるのフールド感を求めるのは不適切になります。

スピードを上げればきつような仕事は、これからますます新興国の競争にさらされ、結局は飽和状態に陥ります。

技術の本質は何か。そのようなことを、あらたに考えることができれば、技術的理論や技術評論師という事実的な技術者の取組に危うきを覚えるからです。先の見えない今だからです。このような本質に立ち返るという姿勢が重要だと思います。

お客様の「困った」から

わたしならにお任せください

POWERED
www.powered.jp

COSEL 商品登録 1000 点以上オリジナル製品も販売中!
在庫品は即日出荷可能



部品調達から実装まで一括管理

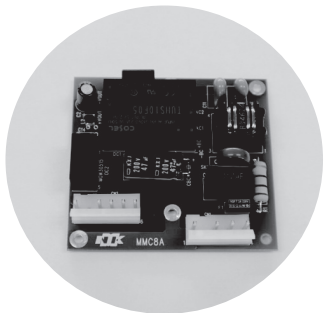


日昭無線株式会社
Nissho Musen Co., Ltd.

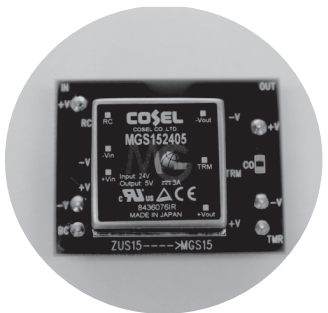
お問い合わせ：企画開発課 TEL：03-3255-6693
東京都千代田区外神田 2-13-1

www.nmk.co.jp

お客様の「困った」から製品が生まれます



COSEL MMC8 シリーズ 相当品



COSEL ZUS/ZUW シリーズ 相当品



鹿児島工場
わたしたちにお任せください

FA・配電制御機器各社の価格改定情報

三菱電機	2022年6月1日受注分	から
配電制御機器	低圧遮断器	20%※
	電磁開閉器	20%
	機械式指示計器	30%
	計器用変成器	20%
	配電用変圧器	20%
	高圧遮断器・高圧電磁接触器	20%
	保護継電器	20%※
	電力ヒューズ	20%
回転機	負荷開閉器・断路器	20%
	進相コンデンサ設備	10%※
駆動制御機器	三相モーター	20～30%
	ギヤードモーター	15%
	インバーター	15%

※一部機種は改定率が異なる

オムロン	2022年9月1日	から
センサ	ファイバセンサ	10%
	光電センサ	10%
	変位センサ/測長センサ	10%
	画像センサ	10%
	コードリダ/OCR	10%
	近接センサ	15%
	フォト・マイクロセンサ	10%
	ロータリエンコーダ	10%
スイッチ	超音波センサ	10%
	圧力センサ/流量センサ	10%
	振動センサ/漏液センサ/その他センサ	10～20%
	状態監視センサ	10%
リレー	レベル機器	20%
	マイクロスイッチ	30%
	リミットスイッチ	15%
	押ボタンスイッチ/表示灯	10%
セーフティ	セーフティライトカーテン/マルチビーム/シングルビーム	10～20%
	セーフティレーザスキャナ	20%
	セーフティドアスイッチ	10%
	セーフティリミットスイッチ	15%
	セーフティマット	25%
	セーフティエッジ	25%
	非常停止用押ボタンスイッチ	10%
	セーフティキーセレクトスイッチ/イネーブルスイッチ	10%
	プログラマブルセーフティコントローラ	10～20%
	セーフティユニット/セーフティリレーユニット	10～20%
	セーフティリレー	10%
	セーフティ・ドライブ	15%
コントロール	一般リレー	10%
	ターミナルリレー	10%
	I/Oリレー・ターミナル	10%
	ソリッドステート・リレー	10%
FAシステム機器	電力調整器	10%
	温度調節器(デジタル調節計)	15%
	タイマ/タイムスイッチ	20%
	カウンタ	20%
	カムポジション	10%
	デジタルバネルメータ	15%
	信号変換器	20%
	プログラムリレー	20%
モーション/ドライブ	マシンオートメーションコントローラ	10%
	プログラマブルコントローラ	10%
	ソフトウェア	10～15%
	ネットワーク機器	10～20%
省エネ支援/環境対策機器	プログラマブルターミナル	10～20%
	RFIDシステム	10%
	周辺ツール	10～20%
	インバータ	10%
	サーボモータ/サーボドライバ	10～15%
	モーション/位置制御ユニット	10～15%
	電力監視	20%
	EQUO環境センサ	10%
電源/周辺機器他	データ収集機器	10%
	監視・分析ソフトウェア	10%
	無線機器	10%
	クリーン機器	10%
	パワーサプライ(電源)	10%
	状態監視機器	15%
	無停電電源装置(UPS)(形S8BA)	15%
	軸流ファン	15%
	静電気対策機器	10%
	電力・機器用保護機器	10～20%
	接続・省配線機器	10～20%
	センサI/Oコネクタ/センサコントローラ	10～20%
	共用ソケット/DINレール/防水カバー	10%

富士電機機器制御	2022年1月1日受注分	から
開閉機器	電磁開閉器/電磁接触器	15%
	電磁開閉器/電磁接触器(FCシリーズのみ)	20%
	サーマルリレー	15%
	応用機器(自動スターデルタ始動器、Sシリーズ補助継電器、耐熱形電磁接触器・補助継電器)	20%
	マニュアルモータスタータ(MMS)	15%
	コンパクトマルチプルモータコントローラ(CMC)	15%
	電子式スタータソリッドステートコンタクタ	15%
	配線用遮断器/漏電遮断器(安全ブレーカ形、JIS互換形、BXシリーズ、EXシリーズを除く)/漏電保護リレー	15%
低圧受配電機器	低圧気中遮断器(ACB)	10%
	サーキットブロッケタ	10%
	低圧限流ヒューズ	15%
	操作表示機器	6%
制御機器	操作表示機器(AH25シリーズのみ)	15%
	制御リレー・タイマ	10%
	FAセンサ	10%
	ロジックコントローラ(RQシリーズ)	15%
エネルギー管理機器	多重伝送機器(RM)	15%
	電力監視システム(F-MPC)デジタル多機能リレー	15%
	電力監視システム(F-MPC)エネルギー管理機器	15%
	自動比率調整器(QC)	15%
	高圧断路器	20%
	高圧気中負荷開閉器	15%
	高圧限流ヒューズ	15%
	高圧真空遮断器	10%
盤内高圧機器	高圧真空電磁接触器	10%
	高圧受配電用保護継電器	10%
	高圧機器台車	10%

パトライト		2022年6月30日受注締切後の注文分から
回転灯・表示灯	HKM/LFH/RLR/SF/SKH/SKP/SKS/SL DEB/NE/NE-IL/PFH	5～12% 10～13%
LED防爆表示灯	EDLR/REL	10%
積層信号灯	LA6/LS7/ME/MP	5～8%
LED照明	LR4/LR5/LR6/LR7/HSST/WE/WME CLA/CLE/CLK/CLN	2～14% 5%
	ネットワーク対応製品	LA6POE/LR6USB/NBM/PHC/PHE/PHN/PMN-WIN/WD
電子音報知機 (光一体型含む)	EHS/RT	5%
	BD/BK/BM/LKEH/RFT	10%
	EHV/FV/PV/RT-V	5%
	BDV/BKV/BSV/LKEH-V/RFV	8～12%
LED表示器	VM96F	5%
その他	各種オプション品	4～20%
プッシュイン端子台	TW/TTW/TWM	9～13%
ねじ端子台レール式	TX/TXU/TFP/TTFP/TFE/TTG/TT	10%
ねじ端子台組式	TEN/TEU/T/TC/TL/TXM/TXUM/TQB/TFPM	9～12%
端子ねじ(補修パーツ) 各種	TANSHINEJI	50～53%
特殊用途端子台	TNS/TNC/TS-R/TS-CHM/TEV/JPBF/JPBS/JPPG/JPBX	9～11%
端子台アクセサリ	エンドプレート/カバー/記名シール/レール/ストッパー/レール支え/ショートバー/他	8～17%
	分岐用銅バー/支持金具/端子台レールカッター	20%
ニッスイ液面リレー	TBL(標準セット、本体、錘、吊りひも、アダプター)	10%
操作用押ボタン開閉器	BSH/WBST/WPBS	10%
動力用押ボタン開閉器	BS/BSE/BSW/BSWT	10%
操作用・動力用押ボタン開閉器補修パーツ	KPA/SYT/MPK/GPA	8～11%
ホイス用押ボタン開閉器	COB60/COB260/COB280	10%
小型ペンダントスイッチ	VP103(受注対応品含む)	10～11%
小型ペンダントスイッチ用アクセサリ	ケーブルプッシング/吊下リング/ホルダー	8～10%

内外電機	2022年7月1日注文分	から
標準分電盤・制御盤・警報盤		2～10%
キャビネット		10%
プラスチックボックス		5～15%
パーツ製品		一部5～25%

明電舎	2022年7月	から
主要商品全般		

大崎電気工業	2022年9月1日受注分	から
販売製品全般		10～20%

キムラ電機	2022年8月22日受注分	から
全製品		10～13%

サンミュールン	2022年10月3日受注分	から
LL形・LLC形表示灯を除く全製品		0～約35%

マコメ研究所	2022年8月1日	から順次
全製品		10～20%

サトー	2022年8月1日受注分	から
サブライ全商品(プリンタ用ラベル、タグ、リストバンド、リボン、ハンドラベル、MCカード、プライマリラベル(商品シール等)、RFIDラベル・タグ等)		10%～

NKKスイッチズ	2022年7月	から
NKKダイレクトショッピング取扱い全商品		15%以上

コンテック	2022年7月1日受注分	から
全製品		8%

FA・配電制御機器各社の価格改定を実施 10～20%程度の値上げへ

原材料価格やエネルギー価格、物流費の高騰が止まることを知らず、世界・日本国内でも生活用品をはじめ、あらゆるものの値上げが続いている。FA・配電制御機器も例外ではなく、昨年から今年にかけて一部のメーカーで値上げの動きが出始めていたが、6月ごろから10～20%程度の価格改定に踏み切るメーカーが増えた。各社の価格改定の状況をまとめた。

三菱電機は、2022年6月1日受注分から価格改定を実施。低圧遮断機、電磁開閉器、配電用変圧器、保護継電器等が20%の値上げになるほか、三相モータ1で20～30%、ギヤードモータで15%、インバータで15%の価格上昇となる。オムロンは、2022年9月1日から実施。センサ、スイッチ、セーフティ、リレー、コントロール、FAシステム機器、省エネ・環境対策機器、電源といった全般で価格を改定する。多くは10%～20%の値上げになるとしている。富士電機機器制御は、2022年1月1日受注分からいち早くスタートしている。開閉器、低圧樹配電機器、制御機器、エネルギー管理機器、盤内高圧機器で、10～15%、一部20%の値上げとなっている。パトライトは、2022年6月30日受注締切後の注文分から新価格を導く。

このほか、明電舎は2022年7月1日から全製品で10～20%の値上げに踏み切る。22年9月1日受注分から販売製品全般にわたって10～20%の値上げを実施する。内外電機は、2022年7月1日注文分から価格改定を実施。標準分電盤・制御盤・警報盤で2～10%、キャビネット10%、プラスチックボックス5～15%、一部5～25%の値上げを行う。

日から全製品で10～20%の値上げに踏み切る。サトは2022年8月1日受注分からサブライ全商品を対象に10%、NKKスイッチズはECCのNKKダイレクトショッピング取扱いの全商品15%以上値上げする。コンテックも2022年7月1日受注分から全製品で8%の値上げを行う。

35%、マコメ研究所は2022年8月1



自動化×デジタルで
工場の「人手不足」を解決

業界の共通課題を自動化と
シミュレーション技術で解決し、生産性を向上

シミュレーション技術を活用した

中小食品製造業の生産性向上支援プログラムの

取り組みとなります

令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金(ビジネスモデル構築型)(2次公募)採択プロジェクトとしてスタート。生産性向上に寄与する共通課題を複数抽出、製造業における3000件を超える自動化、効率化支援実績をもとに自動化構想設計、シミュレーションによる効果検証を実証するプロジェクトです。2022年5月の成果発表を旨とし、一般社団法人日本惣菜協会会員企業とともに推進を予定しております。

「自動化」についてお悩みの方はお気軽にご連絡ください(担当:高見・尾山)

メール | rd@fa-products.jp

お電話 | 03-6453-6761(代表)



会社情報

商号 株式会社FAプロダクツ

所在地 東京都港区新橋5-35-10 新橋アネックス2F

HP | https://fa-products.jp/

本プロジェクト共同事業者(Team Cross FA幹事企業)

株式会社オフィス エフエイ・コム、日本サポートシステム株式会社、ロボコム株式会社

工場新設・増設情報 8月第2週

【国内】

■マクセルフロンティア、山形県米沢市の米沢事業所に新工場建設

産業機器向けシステム・画像認識システムのマクセルフロンティアは、山形県米沢市の米沢事業所内に新工場（山形県米沢市大字花沢3091-6）を建設する。



米沢事業所では、半導体製造装置・産業機器向け制御基板・ユニットおよび自社開発製品である画像認識ソリューションの開発・設計・製造を行っている。今後、半導体・電子部品製造装置関連の需要が大幅に拡大していくことが見込まれており、そこに向けた生産能力増強となる。

新工場は、鉄骨造地上2階建ての、床面積5100平方メートル。2023年春に着工し、竣工は2024年春の予定。投資金額は約20億円。

■東芝マテリアル、横浜市磯子区の本社工場内に窒化ケイ素ボールの新製造棟

素材メーカーの東芝マテリアルは、神奈川県横浜市の磯子区の本社工場敷地内に、窒化ケイ素ボールの新規製造棟を建設する。2023年11月に生産を開始し、生産能力は2021年度から50％増となる見通し。投資金額は50億円。

電気自動車（EV）の充電時間の短縮や高性能化に向け、バッテリーの高電圧化やモータ・インバータの一体化等が進んでいるが、一方で金属製モータ用ベアリングの電食が課題となっている。窒化ケイ素ボールは、工作機械、風力発電機、鉄道車両など高速回転や耐電食が求められる各分野のベアリングボールとして多数の実績があり、EV用ベアリングボールとしても大幅な需要増加が見込まれている。

■日本ファインセラミックス、宮城県富田市の半導体用セラミックス製品の工場

日揮グループの機能材製造事業会社である日本ファインセラミックスは、宮城県富田市の高屋敷西地区に、半導体用セラミックス製品の工場を建設する。

パワー半導体の需要は拡大していく見通しで、パワー半導体が発する熱を効率的に放熱するための絶縁放熱基板の普及、性能向上が期待されている。新工場は、半導体製造装置用セラミックスの高精度化とパワー半導体用窒化ケイ素基板の増産に向けた設備投資を行う計画の一環として建設。日揮ホールディングスが日本ファインセラミックス富谷事業所に隣接する富谷市高屋敷西地区内に新たな用地を取得し、これを日本ファインセラミックスに貸与する形となる。

新工場の敷地面積は、1万2500平方メートル。操業開始は2024年度内を予定。総投資金額は100億円となっている。

■エプソンアトミックス、青森県八戸市に不要金属の再資源化の新工場

セイコーエプソンのグループ会社であるエプソンアトミックスは、青森県八戸市に不要となった金属を金属粉末の原料として資源化する新工場（青森県八戸市北インター工業団地4-111-2）を建設する。それに向けて八戸市と「八戸北インター工業団地16号区画」の土地売買契約を締結した。取得地の面積は約2万9000平方メートル。2025年春の稼働を目指す。

■津田電線、工場を三重県伊賀市に建設

機器用電線・通信用電線・ケーブルを製造する津田電線は、京都府伏見区横大路に本社移転と、三重県伊賀市に新工場を建設する。本社移転は2023年中に行い、敷地内に光部品の加工工場を建設する。



新工場は、三重県伊賀市横山3445-20に建設し、敷地面積は3万8023平方メートル。1階建てで延床面積は1万1607平方メートル。2022年12月に着工し、2023年6月末の完成予定。2024年4月に全面稼働させる。

■サイコックス、8インチ貼り合わせSiC基板開発ライン新設と生産能力増強

住友金属鉱山の子会社で半導体基板製造のサイコックスは、同じ住友金属鉱山グループの鹿児島県伊佐市の大口電子内に、8インチ貼り合わせSiC基板の開発ラインを新設し、合わせてラインの増強も行う。開発ラインの完工は2024年3月を予定し、ライン増強は2025年には、既存の6インチ貼り合わせSiC基板量産実証ラインと合わせて、月産1万枚（6インチ換算）を目指す。

パワー半導体に使われるSiCは、シリコンに比べて高電圧に対応でき、エネルギー損失も大幅に低減できることから、EV向け等で市場が急速に拡大している。同社の貼り合わせSiC基板「SiCkrest（サイクレスト）」は、独自の接合技術を応用してウエハを2層化して性能面とコスト面を両立させた製品で、希少で高価な単結晶基板1枚から50枚以上の貼り合せ基板を製造でき、急速に拡大するSiC基板需要に柔軟に対応できると期待されている。

■豊田合成東日本、宮城県黒川郡の大衡工場で自動車向け内外装部品の生産を開始

自動車向け内外装部品の豊田合成東日本は、宮城県黒川郡の大衡工場（宮城県黒川郡大衡村松の平2-10-2）に大型樹脂製品の生産工場を新設した。



これまで顧客であるトヨタ自動車東日本向けのフロントグリルなどの樹脂塗装製品は、国内の他の地域で生産したものを供給していたが、新工場の稼働開始によって近隣で生産し供給できるようになる。

新工場は、効率的で環境配慮したスマートファクトリーとなっており、省エネの電動大型成形機、高効率

な塗装設備や協働ロボット、自動搬送機（AGV）、生産工程を製品のQRコードとIoT技術で一元管理するシステム、太陽光発電を導入している。

■日本ゼオン、岡山県倉敷市の水島工場のリーフアルコールの能力増強を完工

自動車用タイヤなどの合成ゴムや高機能樹脂の製造・開発を中心にする事業を行う化学メーカーの日本ゼオンは、2021年夏から岡山県倉敷市の水島工場を進めていた合成香料の主力製品であるリーフアルコールの能力増強工事が完工した。これにより年間生産能力は1600トンに拡大し、9月から本格生産を開始する。

■BASF戸田バッテリーマテリアルズ、リチウムイオン電池用正極材料の生産能力増強

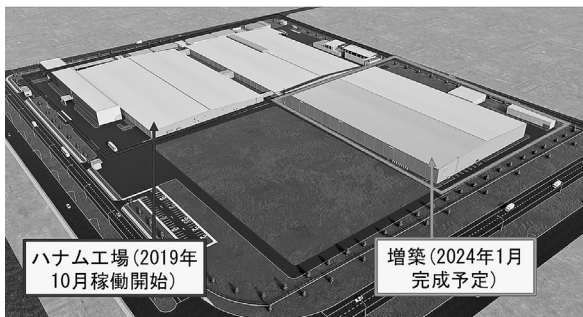
BASFと戸田工業の合併会社のBASFバッテリーマテリアルズは、山口県小野田市の小野田事業所でのリチウムイオンバッテリー向けのハイ・ニッケル系正極材料の生産ラインを増強する。増設ラインは2024年下期に完成・稼働開始する予定で、2025年ま



【海外】

■YKK、加工輸出向けファスナーを製造するベトナム・ハナム工場を増築

ファスニング商品を製造・販売するYKKは、ベトナム・ハノイ郊外のハナム省にある加工輸出向けファスナーを製造するハナム工場を増築する。新工場は、敷地面積6万2000平方メートル、建屋面積2万600平方メートル、2024年1月に完成予定。投資金額は5000万ドル（約67.4億円）。



■テルモ、米国に原料血漿採取システムの新工場を竣工

テルモの米国子会社テルモBCTは、米国コロラド州タクラス郡に、FDA認証を取得した原料血漿採取システム「Rika」のディスポーザブル製品の生産工場となるリトルトン工場を竣工した。

新工場は、広さ1万5700平方メートル。最新の生産設備と環境負荷を減らす資源の効率利用を行い、年間数百トンのプラスチックリサイクルと、453トンの木材の節約を見込んでいる。投資金額は2億5000万ドル（約320億円）。

■ADEKA、韓国で先端半導体メモリ向け高誘電材料の生産能力を増強

素材メーカーのADEKAは、子会社となるADEKAKOREACORPの韓国全羅北道完州郡の全州第二工場で、23億円を投資して先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズの生産能力を増強する。

半導体市場は2030年に1兆ドル規模に成長すると見込まれ、なかでもDRAMは微細化が進行しており、これを下支える先端半導体材料の安定供給が鍵を握るとされている。

これに対し同社は、高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズを提供し、2021年にADEKAKOREACORP、全州第二工場内に一貫生産体制を構築するなど、先端製品を迅速かつ安定的に供給するための取

りにハイ・ニッケル系正極材料の年間生産能力は6万トンまで拡大する見通し。

■山下工業所、山口県下松市の工場を増設 半導体製造装置用部品の増産のため

鉄道車両部品や半導体製造装置部品の製造を行う山下工業所は、山口県下松市に半導体製造装置部品の製造を行う工場（山口県下松市東海岸通り1-27、1-33）を増設する。

敷地面積は2891平方メートルで、増築面積は217平方メートル。2022年8月に着工し、2023年3月に操業開始予定。投資金額は約1億3000万円。

■スターゼン、牛肉加工能力の向上に向けグループ会社の工場を拡張

スターゼンは、鹿児島県阿久根市にあるグループ会社の阿久根食肉流通センターとスターゼンミートプロセッサの阿久根工場ピーフセンター（鹿児島県阿久根市塩浜町1-10）の拡張工事を完了した。

牛係留所や計量室、冷蔵庫・保管庫を増築したほか、焼却炉の新設や大型ロータリー真空包装機、ナイフ研磨ロボットの導入、スキンパック商品製造ラインの設置などを実施。高度な衛生管理水準と最新の機械設備を導入し、飲水設備のある係留所などアニマルウェルフェアにも対応し、EUや米国など25の国と地域への輸出認定を取得している。

増設部分の延床面積は2622平方メートルで、既存施設との合計は7640平方メートル。投資金額は16億6000万円。

り組みを推進している。今回の生産能力増強はその一環となる。

■フェローテックの製造子会社・江蘇富榮華半導体科技股份、中国四川省に新工場

フェローテックホールディングスのパワー半導体用絶縁放熱基板の製造子会社である中国・江蘇富榮華半導体科技股份は、中国四川省に新工場を建設する。

同社は、上海と東台に工場を保有しているが、これ以上の拡大余地がないため、四川省内江市に用地を確保し、新工場を建設する。建屋の総床面積は約8万平方メートル。2022年7月に建設を開始し、2024年1月から操業をはじめる予定。投資金額は約171億円。

■田中貴金属工業、台湾・湖口工場に貴金属リサイクルの新棟を建設

田中貴金属工業は、台湾・新竹県の湖口工場に貴金属回収・精製のための新棟を建設する。同社は、2005年から台湾内で貴金属の回収・精製事業を進めているが、回収・精製は現地企業や台湾外での加工に頼っていた。今回の新棟の建設により、貴金属リサイクルを台湾内・同社内で完結できるようになる。

新棟は、地下1階・地上8階建てで、延床面積は8300平方メートル。貴金属工業製品の製造、貴金属の回収・精製を行う。稼働開始は2025年上期を予定し、2026年までに台湾内でのリサイクル事業を拡大する。投資金額は35億円。

■住江織物、メキシコの子会社で自動車内装材向け合成皮革製造ラインを新設

インテリアや自動車内装等の素材メーカーの住江織物は、メキシコ・グアナフアト州にある子会社SuminoeTextiledeMexico,S.A.deC.V.の工場に、自動車内装材向けの合成皮革製造ラインを新設する。これにより生産能力はひと月あたり40万メートルとなる。2023年7月に製造ラインの設置を開始し、12月に先行生産を開始。2024年3月から量産を開始する予定。投資金額は10億円。



JAPAN UNIX

世界の製造業が採用
IPC 品質標準規格

グローバルに通用する製品品質を備え、
世界各地での躍の第一歩に――



ジャパンユニックスでは
IPCの標準規格書・情報・サービスを
提供しています

IPC 標準規格書 無料版 まずは web からダウンロード

『IPC』『規格』『無料』で 検索

はんだ付工程を
見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』ではんだ付のIoT化へ
ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して
モニタリング・稼働ログの保存が可能
- 3D ソルダリングの実現
付加軸 2 軸を加えた 6 軸同時制御により
ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



ジャパンユニックス製品 導入事例集 web にて公開

『はんだ付 導入事例』で 検索

株式会社 ジャパンユニックス
http://www.japanunix.com

本社 〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-25 Tel. 03-3588-0551 Fax. 03-3588-0554

大阪営業所 Tel. 06-6190-4580 Fax. 06-6190-4581 名古屋営業所 Tel. 052-679-2111 Fax. 052-679-2112 テクノセンター Tel. 096-287-4501 Fax. 096-287-4503